学科・分野：	文学歴史学科　1年　必修科目
授業科目名：	**日本文学（1）**
講義概要：	日本の中世文学（鎌倉時代～室町時代）を中心に取り上げます。この時代には、茶道・華道、能楽など、さまざまな文化が花ひらきました。文学としても、奈良・平安時代から続く和歌などが発展したことはもちろん、『万葉集』や『源氏物語』を古典作品として研究対象としたり、仏教的な思想をふまえた随筆・説話集などが編まれたりしました。また、のちに浄瑠璃や歌舞伎へと発展する「語り物」も流行します。中世は、現代に継承される「伝統芸能」の始発点と言ってもよいでしょう。 これらの多岐にわたる中世文学を中心とした古典文学を、当時の時代背景や前後の時代との関わりをふまえつつ見ていきたいと思います。
テキスト：	プリント配布

学科・分野：	文学歴史学科　2年　選択必修科目
授業科目名：	**日本文学（2）**
講義概要：	平安時代の韻文・散文の両方を読みましょう。鎌倉初期に成立した『無名草子』の記述をきっかけにして様々な作品に触れます。テキストと補助プリントを使用し、時代背景や周辺作品についての解説も行います。
テキスト：	原豊二他編『「女」が語る平安文学―『無名草子』からはじまる卒論のための基礎知識―』和泉書院、2021年1月、ISBN 978-4-7576-0980-8　¥1200＋税

学科・分野：	文学歴史学科　3学年　選択必修科目
授業科目名：	**日本文学（3）**
講義概要：	日本の近現代文学に注目します。前半は、歌舞伎や能といった伝統芸能の鑑賞も加えながら、近現代の創作者たちがどのようにこれらの芸術を受け止め、現代に続く物語として発展させているかを考察します。後半は、関西文化に影響を受けた作家の作品や宝塚歌劇で演じられた作品を読み解きます。
テキスト：	必要に応じて資料を配布します。

学科・分野：	国際文化学科　1年　必修科目
授業科目名：	**文化人類学入門**
講義概要：	文化人類学の視点から社会のなかを生きる人間を捉え、関係的存在としての人間の特徴を明らかにします。本講義は以下の3部構成とします。第1部（総論：個人、社会、文化）では、個人／社会を捉える概念と方法を検討します（講義1～3）。第2部（日本で学ぶ文化人類学）では、日本を対象にした文化人類学的研究を紹介します（講義4～7）。第3部（生病死の文化人類学）では、誰も避けることができない病いと死、そこから照射される生の問題を考えます（講義8～11）。全てに通底する問題意識は、自己と世界の意味に迷いながら生きている（きた）人の現実を見据えて、人が生き得る世界の可能性を探ります。後期は、具体的なフィールドワークの事例を通して文化人類学の基本的な概念や考え方についての理解を深めます。また、国立民族学博物館で実地研修を行い、学びの活用を図ります。
テキスト：	プリント配布

学科・分野：	文学歴史学科　1年　必修科目
授業科目名：	**日本史学（1）**
講義概要：	日本古代国家は、どのような歴史を経て成立したのか、その成立の画期はいつ頃に見出せるのか、近年の学説や考古学的成果、多くの文献史料から概観します。 また、著名な人物や事件を取り上げつつ、古代国家の確立が日本史上においてどのような位置付けができ、どこに意義が見出せるのかを考えていきます。
テキスト：	毎回、講義担当者がレジュメを用意します。筆記用具のみご持参下さい。

学科・分野：	文学歴史学科　2年　選択必修科目
授業科目名：	**日本史学（2）**
講義概要：	日本中世史を対象とする。およそ 400 年もの長期にわたる中世という時代は、相次ぐ政権交代や大規模な戦乱に象徴されるように、日本史上まれにみる変革期であった。本講義では、武士階層が台頭する保元・平治の乱から、モンゴル軍が襲来する 13 世紀後半に至る、中世前期（おもに鎌倉時代）の歴史の展開について、政治史を中心に多角的に検討する。
テキスト：	なし。史料プリント・スライド等を使用する。

学科・分野：	文学歴史学科　3年　選択必修科目
授業科目名：	**日本史学（3）**
講義概要：	尼崎を初めとする阪神間は、政治の中心地である平安京・京都と交通の大動脈である瀬戸内海とを結ぶ重要な位置にあります。そのため古くから寺社や武士勢力だけでなく、住民の姿も史料から知ることができます。本講義では、それらの史料を読みながら、具体的な地域の姿を奈良時代から豊臣秀世の時代まで辿ってゆきます。
テキスト：	毎回、プリントを配布します。

学科・分野：	国際文化学科　1年　必修科目
授業科目名：	**多文化共生論**
講義概要：	テクノロジーの進歩により、異なる価値観や規範、言語・宗教などを背景にした人が交錯する現代社会において、今日、外国人・外国文化、また異文化との接触やつながりは日常茶飯事と言えます。そして、文化は絶えず安定して不変というわけではなく、人や環境・自然との相互作用を以て、生々流転していきます。この授業では、子どもや贈り物・映画など身近なことから、災害や宗教、人種・ジェンダーなどの大きな事例を通して、変容する文化理解の基礎的な方法を学び、多様な視点の修得を目指します。そして、互いの文化を尊重し、地域社会・コミュニティの一員として、共に生きていくことを目的に、多文化共生を学びつつ、自文化の再発見へと繋げていきます。授業では、映像を多数使用し、ときとして食べ物や飲み物も出てくる（かもしれない）ため、視覚や聴覚のみならず、味覚からも他文化を学びます。
テキスト：	教科書は使用しません。参考文献・図書は多数あるため、授業ごとに紹介します。

学科・分野：	国際文化学科　２年　必修科目
授業科目名：	**アジア太平洋文化論**
講義概要：	ドメスティック・バイオレンスから戦争まで様々な暴力現象を文化人類学の視点から捉え、暴力のメカニズムを明らかにします。暴力と戦争に満ちた二十世紀、国家の暴走、共生を望みながら争う人、秩序を求めて暴力的になる人、身近な人に向かう刃、これらの細部を国際比較して捉えるとともに俯瞰します。それによって、平和と共生の条件を考えます。後期は、東南アジア、特にタイ国におけるフィールドワークから得たデータや知見を中心に、人々の日常的な営みを宗教、民族、家族・親族、ジェンダーなど様々な観点から考察し、フィールドワークという方法について考え、最後に私たち自身の暮らしとフィールドが交差する日本における移民・難民について検討する。
テキスト：	プリントを配布します。

学科・分野：	国際文化学科　３年　選択必修科目
授業科目名：	**国際総合研究**
講義概要：	本授業の目的は、映画およびその他の映像メディアを通して、アメリカの文化や歴史に対する理解を深めることにあります。特に、文学作品を原作とする映画やアニメーションなどを鑑賞し、それらの歴史的・文化的意義について考察します。あわせて、表象芸術の一形態である文学や映画が、文化理解においてきわめて有効なツールであることを理解することを、本授業の到達目標とします。
テキスト：	プリント配布

学科・分野：	情報学科　１年　必修科目
授業科目名：	**基礎演習**
講義概要：	前半は、Microsoft Word 365 を基礎から学習できるよう、テキストや適宜配布する資料を用いて授業を進める。最後に模擬試験プログラムを体験する。 後半の授業では、HTML 言語の記述方法や CSS 言語の概念及びウェブページ作成の基礎を学び、テキストエディタなどを使って自分のウェブページを作成する。
テキスト：	Microsoft Word 365 対策テキスト& 問題集 （978-4-86775-069-8、FOM 出版、2,100 円＋税） できるホームページ HTML&CSS 入門 （978-4-295-00074-7、インプレス、1,580 円＋税）

学科・分野：	情報学科　３年　必修科目
授業科目名：	**プログラミング（前期）**
講義概要：	アプリケーションソフトウェアや Web アプリケーションをより豊かに利用・活用する上で必要となる、コンピュータ内部で働いているプログラミングの考え方ついて、画面上で「動作の差分で指示をする」ことや「ブロックを直接操作して組み合わせる」ことで学ぶ。また、プログラムを記述するビジュアルプログラミング環境での作業を通して、コンピュータの本質の理解や活用の幅を広げる。
キスト：	適宜、講義資料の配布を行う

学科・分野：	国際文化学科　３年　選択必修科目
授業科目名：	**国際地域文化**
講義概要：	国際文化や国際社会を理解するためには、歴史的知識が不可欠です。また、われわれの社会や生活の中にも、歴史に関係する事柄が多く存在しています。本講義では、国際理解を深めるためにも、歴史および歴史につながるものごとを、受講生の皆さんとも意見交換しつつ、いろいろな視角からみていきたいと思います。
テキスト：	『流れ図 世界史図録ヒストリカ』（山川出版社） ※前年度に山口担当講義で使用していたものと同じもの

学科・分野：	情報学科　１年　必修科目
授業科目名：	**基礎情報**
講義概要：	今後３年間のコンピュータを使用するときの基礎的な能力やマナーを身に付けます。基礎的な能力としては、ワープロ、表計算、プレゼン資料作成など基本的なアプリケーションの活用能力、電子メールなどのコミュニケーション能力育成を目指し、マナーとしては情報社会における諸問題や情報論理などを解説します。それら以外にコンピュータを通じて「情報」の取り扱い方（収集や発信など）も学びます。
テキスト：	「情報リテラシー入門編　Windows11 Office2024／Microsoft365 対応」FOM 出版、1,210 円（税込） ISBN 978-4-86775-216-6

学科・分野：	情報学科　２年　必修科目
授業科目名：	**応用情報**
講義概要：	1年次で学んだ基礎情報の内容をもとに、プレゼンテーションやデータベース、マルチメディアコンテンツの作成を通して、応用情報活用能力をつけ、メディアを活用する力を伸ばす。また情報社会における諸問題やコンピュータに関する事象に関心を持ち、生成 AI や情報を正しく取り扱う姿勢や態度を確実なものにする。
テキスト：	2025 年度「基礎情報」で使用したテキストを引き続き使用

学科・分野：	情報学科　２年　必修科目
授業科目名：	**応用演習**
講義概要：	前半は「関数に挑戦」後半は「写真撮影と画像処理」について学習します。 「関数に挑戦」は Excel の便利な機能である関数をより理解しやすくするために Logo 言語を使って自ら関数を作りながらそれがどんなものなのかを学習します。そのあと実際に Excel を使って代表的な関数を活用し、最後に Excel で自分が欲しいと思う関数を作ることに挑戦します。 「写真撮影と画像処理」はピンフォールカメラを実際に作って写真の原理を理解します。そのあとデジタルカメラでお任せモードではなく自分でシャッタースピードや絞り値を設定した撮影に挑戦します。デジタルの写真は加工が簡単なので写真加工ツール PaintShopPro でヒストグラムなどを操作して編集をしたり、最近登場した AI を活用して画像の加工や生成を体験したりします。
テキスト：	テキストは前半後半に分けて簡易印刷して配布します。（実費をお願いします）

学科・分野：	情報学科　３年　必修科目
授業科目名：	**web 応用（後期）**
講義概要：	社会が Socity5.0 に変化する中、小学校から大学まですべての子ども・学生たちが情報教育を受ける状況となりました。この授業ではプログラミング教育で利用される教育用プログラミング言語 Scratch について基礎的内容を学びます（Scratch 3.0 を使用）。この学びの中でプログラミング的思考や論理的思考の習得に挑戦します。また、この授業の修了時には地域の子どもたちにプログラミングを教えることができることをめざします。
テキスト：	『プログラミング的な思考を育む　こんにちはスクラッチ「ねこの散歩 編」』（出版社：NextPublishing Authors Press　ISBN:978-4802078252、価格税込み 1,375 円） ※この書籍は Amazon 公式サイトからのみ購入ができます

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**戦国大名とその時代**
講義概要：	戦国時代の日本列島では、戦国大名や一向一揆などの地域権力（地方政権）が各地に出現し、自らの「国」の存続をかけてしのぎを削っていくが、やがて織田信長・豊臣秀吉の統一政権のもとに統合されていく。本講義では、戦国大名および信長・秀吉の統一政権についてとりあげ、分立から統一へ向かう権力の動向を中心に述べていく。
テキスト：	なし。史料プリント・スライド等を使用する。

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**西洋史概論**
講義概要：	欧米は日本から遠く離れた地域ですが、映画や物語、旅行などを通して我々日本人にもなじみ深い存在ですし、日本に大きな影響も与えてきました。この講義では、できるだけ多くのエピソードを紹介しつつ、西洋近世から近代の歴史をみていきます。
テキスト：	『流れ図 世界史図録ヒストリカ』（山川出版社） ※前年度に山口担当講義で使用していたものと同じもの

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**中国史入門**
講義概要：	始皇帝、諸葛孔明、玄宗と楊貴妃、岳飛、鄭和、西太后等々、何となく名前だけは聞いたことがある中国史の偉人たち。今年度は神話の時代から現在の中華人民共和国の成立まで、歴代王朝の君主や后妃をはじめとする人物の事跡を中心に中国史の流れをたどっていく「人物で見る中国史」を講義していきます。人物の実像や時代の実相のほか、中国での伝統的な人物観や近年の時代劇での描かれ方にも注目します。
テキスト：	毎回プリントを配布します。

学科・分野：	情報学科　３年生　必修科目
授業科目名：	**課題研究**
講義概要：	「課題研究」はこれまでの学習のまとめとして、自分でテーマを決めて、自分で研究していく総合的実習科目です。最後に公開の発表会を実施します。この科目を通して、「情報技術」を実践的に活用する資質を養います。講義では、各自の研究の参考となる知識・技術を紹介・体験していきます。 （参考資料）但し、入手できない可能性があります。また価格も値上げの可能性あり。 高等学校教科書「最新情報Ⅰ」実教出版　定価¥1100 高等学校教科書「情報Ⅱ」実教出版　定価¥1211
テキスト：	Manaba で配信します。

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**日本古典文学研究**
講義概要：	『源氏物語』第一部の終盤である玉鬘十帖を中心に、場面を抜粋して読みます。光源氏は理想的な大邸宅である六条院を造り、四季の移ろいと人間模様が華麗に描かれてゆきます。補足資料とともに、解説しながら本文を読み進めます。
テキスト：	プリント配付

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**奈良朝人物史 ―『続日本紀』薨卒伝を読む―**
講義概要：	奈良時代の正史『続日本紀』には、「薨卒伝」という記述が散見します。これは、亡くなった人物の略歴や人物評を記述したものです。「薨卒伝」を読み解くことで、人物の詳細だけでなく、国家と編者の意図や評価、世相なども見えることがあります。有名・無名を含めた多くの人物史から、その人物と生きた時代の歴史を概観します。
テキスト：	毎回、講義担当者がレジュメを用意します。筆記用具のみご持参下さい。

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**アジアの風土と文化Ⅰ（前期）**
講義概要：	この授業の目的は、西はトルコから、東は日本まで、広大な領域を有するアジア地域の風土と文化の理解です。とはいえ、対象とする地域があまりに広すぎるため、アジア全域を視野に入れつつも、複雑な特徴を持つ南アジア地域を中心に、文化や宗教、社会を学んでいきます。とくに、古くは天竺と称され、仏教の故郷でもあるインドに焦点を合わせ、文化や今日の諸問題を検討し、世界最大の人口を有する複合的社会・多元的世界が形成された要因を模索します。 ともすれば、あまりなじみのない南アジア地域を学ぶことにより、自分とは異なる視点・知識・思考力の習得を目指します。後期の同じ授業と連動しているので、両方受講すると、アジアの風土と文化をより深く理解することができるでしょう。さらに、授業では、映像を多数使用し、ときとして食べ物や飲み物も出でくる（かもしれない）ため、視覚や聴覚のみならず、味覚からも他文化を学びます。
テキスト：	教科書は使用しませんが、下記の本を推薦図書とします。 また、授業ごとに、内容に即した参考文献・資料も紹介します。 『ようこそ南アジア世界へ』石坂晋哉・宇根義己・舟橋健太（編）昭和堂 2020

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**国際社会の諸問題Ⅰ（前期）**
講義概要：	ウクライナ戦争は今年終結するのか、ガザの今後はどうなるのか、米中の関係はどうか、本当に先が見えない世界情勢です。前期は中国・欧州・南米・中東の最近の情勢と今後について、各地域への駐在を経験した商社 OB の専門家がグローバルな視点で解説します。後期はトランプの米国、グローバルサウスの雄であるインドとインドネシアの最近の状況、最後は世界全体の動きのまとめで締めくくります。前期・後期、セットで受講いただくことで全体の動きが、より分かりやすくなります。
テキスト：	プリント配布

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**アジアの風土と文化Ⅱ（後期）**
講義概要：	この授業の目的は、西はトルコから、東は日本まで、広大な領域を有するアジア地域の風土と文化の理解です。とはいえ、対象とする地域があまりに広すぎるため、アジア全域を視野に入れつつも、複雑な特徴を持つ南アジア地域を中心に、文化や宗教、社会を学んでいきます。とくに、古くは天竺と称され、仏教の故郷でもあるインドに焦点を合わせ、文化や今日の諸問題を検討し、世界最大の人口を有する複合的社会・多元的世界が形成された要因を模索します。 ともすれば、あまりなじみのない南アジア地域を学ぶことにより、自分とは異なる視点・知識・思考力の習得を目指します。前期の同じ授業と連動しているので、両方受講すると、アジアの風土と文化をより深く理解することができるでしょう。
テキスト：	教科書は使用しませんが、下記の本を推薦図書とします。 また、授業ごとに、内容に即した参考文献・資料も紹介します。 『ようこそ南アジア世界へ』石坂晋哉・宇根義己・舟橋健太（編）昭和堂 2020

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**国際社会の諸問題Ⅱ（後期）**
講義概要：	本講義の後期は、本年 11 月に中間選挙をむかえるトランプ大統領の米国、モンデイ首相率いるインド、プラボウオ大統領のアセアン盟主インドネシア、最後は久米川講師により「Top Risks 2027」を含めた来年の展望を予定しています。特に関税問題も含めた米中関係、インド・アセアンは如何に動くのか、まさに激動の世界が今後どのようになるのか。前期と後期、セットで聴講いただきますと世界の動きがよく理解頂けると思います。是非、ご期待下さい。
テキスト：	プリント配布

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**西南太平洋の海の暮らしと文化（前期）**
講義概要：	西南太平洋、東南アジア諸地域の「海辺の暮らし」を中心に据え、人々の生活や生業（漁業や農業）、食生活、伝統文化などについて考えてみます。とくに生活世界に注目し、これまで実施してきたフィールドワークの経験に基づいて各種の話題を提供します。受講者の皆さんとの知識の共有とそれに基づく討論を楽しみにしたいと思います。
テキスト：	資料プリント・スライド等を使用する。参考文献等は講義中に適宜紹介する。

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択
授業科目名：	**タブレット活用～小学校授業から生活での利活用まで～（前期）**
講義概要：	GIGA スクール構想により、小学校 1 年生より 1 人 1 台の情報端末が整備され、学習での活用が進んでいます。持ち運び自由で手軽に活用できることから iPad などの情報端末を家庭で購入される方もいます。本科目では、小学校での情報端末の活用を試行するとともに、生活での利用についてアイデアを共有します。
テキスト：	必要に応じて資料を配付します。
その他：	授業では 1 人 1 台の iPad を使用します。アプリ等の操作マニュアル等は配布しません。Web サイトを紹介しますので、そちらを参照してください。

学科・分野：	情報学科　研究生科目
授業科目名：	**インターネット活用**
講義概要：	生活の中で Web サイトの閲覧をはじめ、インターネットを活用する機会が増加してきた。しかし、インターネットのごく一部のサービスやツールしか活用していないのが現状である。そこで、この科目では 3 年間で学んだ情報技術を活用して、インターネット上のクラウド・サービス（グループウエア）の使用法について学び、生活の中でのインターネット活用の幅を広げる。
テキスト：	必要に応じて資料を配布する。

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**兵庫県漁業と日本の「漁業伝統」を考える―歴史・環境・人材育成（後期）**
講義概要：	講義は 2 部に分けて展開する予定です。第 1 部では、①兵庫県の近代期における漁業を理解します。兵庫県にはきわめて貴重な明治期の史料が残されています。これらの資料を読み解き、漁業の豊かな知識を体感します。次に、②現代的な兵庫県漁業を、環境と人材育成に注目しながら理解してみます。現代の「漁師」をとらえることも含めます。第 2 部では、第 1 部で得た知識をふまえて、日本における沿岸小規模漁業について、生態学的側面（人間―環境関係）と「漁業伝統」に注目しながら捉えることを試みます。
テキスト：	資料プリント・スライド等を使用する。参考文献等は講義中に適宜紹介する。

学科・分野：	全学科　全学年　共通選択科目
授業科目名：	**仏教の歴史と思想（後期）**
講義概要：	テーマ「鎌倉仏教の世界を尋ねて」 日本仏教を開花・発展させた鎌倉仏教の祖師たちの思想・実践について、わかりやすく解説していきます。その上で、関係寺院を訪ねて、文化財等も紹介していきます。
テキスト：	講義ごとにレジュメを配付

学科・分野：	情報学科　研究生科目
授業科目名：	**プログラミング応用**
講義概要：	（前期）Python プログラミングの概要を学び、自分でプログラミング技術を身に付けていくための力の育成をめざします。Python の実行間観を作成するため 16GB 以上の USB メモリをご用意ください。 （後期）情報を専門としない人向けの、アートとデザインのためのプログラミング環境である Processing（JavaScript 版）を用います。基本的な図形からアニメーションの描画方法などを学習した後、プログラミングによって何かを創造し、Web ブラウザ上でビジュアルな表現の出力を行うことを目標とします。
テキスト：	